令和３年産米　米価下落に対する対策を求める意見書

人口減少や少子高齢化による米の消費減退、業務用米の需要等の減少の中で、本年産米の米価については大幅な下落となり、農家は大小の規模を問わず、大打撃を被っております。農家も需要に応じた生産や生産コスト削減に取り組んでおりますが、このように急激な経営環境の悪化は、個々の農家経営の維持のみならず、地域社会の維持・管理に困窮する状況をもたらしております。

農業に重きを置く地域社会と農家への支援のために、以下の対策を強く求めます。

記

１.「食料・農業・農村基本計画」の目標の一つである食料自給率、飼料自給率を達成するためには、しっかりとした国家戦略が必要であり、今の需給と価格の安定に国が責任を持った対応を行うこと。

２.令和３年産米価格の大幅下落によって、次年産に向けての生産意欲が後退しないよう、早急に次期作へのとりくみ支援を実施すること。

３．国連「家族農業の１０年」の趣旨を生かし、中山間地域における農業振興策を充実させること。

以上、地方自治法第９９条の規定により、意見書を提出します。

令和３年１２月２４日

滋賀県蒲生郡日野町議会

議　長　　杉浦　和人